

授業科目名	慢性看護Ⅱ			担当教員	山本 孝治、中村 光江、 西山 陽子	
開講年次	2 年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	慢性疾患の予防からセルフケア、患者会の運営、セルフケアグループの役割など、個および集団への指導や援助方法を習得する。					
到達目標	1. 様々な慢性疾患の特徴と生活への影響について説明できる。 2. 慢性病の管理に影響する要因をアセスメントできる。 3. 慢性病の予防から終末期までの具体的な援助方法を述べることができる。 4. 事例を通して、慢性病をもつ人と家族への看護を具体的に考察できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	健康行動論、慢性看護Ⅰにおける基本的な学びをもとに、慢性病とともに生きる人への援助をより具体的レベルで展開する方法について考察し、看護実践（慢性看護実習）につなぐための科目である。事例の課題を通し、慢性病をもつ人がどのような困難を経験するのかを知り、その困難さを含めた療養生活を支える看護を学ぶため、「人間の尊厳と権利を擁護する力」を育むことができる。また、病気をコントロールしつつ自分らしく生きていくという慢性病を持つ人の課題に対する有効な援助を学ぶことによって、「問題解決能力」を向上させることができる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		○		◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	科目オリエンテーション 事例演習の課題配布 対象理解を深める具体的方法 病みの軌跡の聴き取りの振り返り	講義 (GW)	予習：病みの軌跡聴き取りの振り返り 復習：提示された事例演習の展開	30 分	山本 中村	
2	免疫系障害とともに生きる人への看護 関節リウマチ 全身性エリトマトーデス ステロイド療法	講義 (GW)	予習：テキスト第Ⅳ章 4. ステロイド療法を受ける患者の援助 第Ⅴ章「関節リウマチ」 「全身性エリテマトーデス」	45 分	山本	
3	代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護 (1) 糖尿病の病態、症状、治療	講義 (GW, AL)	予習：「疾病と治療」の糖尿病の病態・治療を復習する テキスト第Ⅴ章「糖尿病」	60 分	山本	
4	代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護 (2) 糖尿病の療養、指導の実際	講義 (GW, AL)	予習：「疾病と治療」の糖尿病の病態・治療を復習する テキスト第Ⅴ章「糖尿病」	60 分	山本	
5	小テスト（糖尿病） 慢性病とともに生きる人の家族への支援 サポートグループ、セルフケアグループの役割	講義 (GW, AL)	予習：第3、4回の講義資料を復習する テキスト第Ⅲ章,3. 社会資源の活用、4. 治療・療養を促進する支援	60 分	山本	
6	試験のフィードバック 慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法 (1) 指導案の作成	講義 演習 (GW, AL)	予習：「健康行動論」で学習した理論を復習する 復習：指導案、パンフレット作成	80 分	山本	

7	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法（2） 指導案のピアレビュー	講義 演習 (GW, AL)	予習：指導案、パンフレットの作成	60 分	山本 中村 西山
8	事例演習（個人課題）のフィードバック	講義 演習 (GW, AL)	復習：事例演習（個人課題）の修正	60 分	山本
9	事例演習（1）（2） グループワーク	講義 演習 (GW, AL)	予習：個人課題「看護計画」の作成 復習：計画、シナリオの作成および修正	60 分	山本 中村 西山
10	個人課題「看護計画」の共有 ロールプレイに向けた計画書、シナリオ作成				
11	事例演習（3）（4） グループワーク	講義 演習 (GW, AL)	予習・復習：計画、シナリオの作成 および修正	60 分	山本 中村 西山
12	ロールプレイに向けた計画書、シナリオ作成 発表準備（実習室での練習）				
13	事例演習（5）（6）発表	講義 演習 (GW, AL)	予習：計画修正 復習：発表および計画の評価	60 分	山本 中村 西山
14	ロールプレイ				
15	事例演習の振り返り、 フィードバック まとめ	講義	予習：事例演習記録の追加・修正 復習：事例演習のフィードバック内容を振り返る	70 分	山本 中村 西山
先行履修科目					
テキスト		鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂版 第3版. 南江堂, 2019.			
参考文献		鈴木志津枝 編：慢性期看護論 第3版. ヌーヴェルヒロカワ, 2014. 森山美知子 編：新しい慢性疾患ケアモデル デジーズマネジメントとナーシングケースマネジメント. 中央法規出版, 2007. 日本糖尿病学会 編：糖尿病食事療法のための食品交換表第7版. 文光堂, 2013. 日本糖尿病教育・看護学会 編：糖尿病に強い看護師育成支援テキスト. 日本看護協会出版会, 2008. 福井トシ子 監修：ライフステージから理解する糖尿病看護—事例で学ぶアセスメントのポイント—. 中央法規, 2013.			
評価方法		小テスト（10%）、演習の課題（80%）、授業への参加（10%）で総合的に評価する。 小テストは第5回に実施する。 演習の課題の内訳は、指導案の作成（20%）、事例演習（60%）とする。			
教員等の実務経験		腎臓内科、糖尿病内科等の病棟で看護師の経験がある教員が講義、演習を担当する。			
メッセージ		慢性看護Ⅱは2年生の集大成といえる慢性看護実習（レベルⅢ）につなぐ科目です。演習では、個人ですすめる課題と、グループで討議しすすめる課題の両方に取り組みます。どちらも計画的に学習を進めていくように心がけてください。また、グループメンバーとの学び合いを大切にしてください。			